

令和5年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	83	学校名	浜松湖北高等学校佐久間分校	記載者	佐藤 敦
------	----	-----	---------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	節度ある生活態度の実践を図り、行事・部活動やボランティア活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・行事が有意義と答える生徒80% ・行事・部活動やボランティア活動に積極的な取り組みを行った生徒の割合85%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でなかなか思うように活動できない部もあると思うが、「できない」ではなく継続していくことが大切。 ・フェスタ佐久間などの地域イベントで参加するのは素晴らしいこと。
イ	個に応じた指導の在り方を確立する。 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・面接 学期1回以上実施 ・いじめ等に関するアンケート 年4回実施 ・ケース会議 学期1回実施 ・カウンセラーとの面談1人1回以上 ・生き方に係る授業・講座年1回以上 ・生徒の抱える悩みに応えられる適切な指導が行われていると答える保護者90% 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に来づらい生徒もいるかもしれないが、先生方はたくさん時間を生徒に費やしていると感じる。 ・いじめ等に関するアンケートを定期的に行っているのは良いこと。
ウ	授業や総合的な探究の時間で生徒の発信力を高める活動をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での発表活動 学期2回以上 ・総合的な探究の時間での発表会 年2回以上 ・授業の発表活動や探究の発表会をとおして、自分の考えを伝える力が高まったと答える生徒70% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・人の前で発表することや意見を述べる場があることは、とても良い機会だと思う。 ・社会に出ても発表する機会はあるので、高校での経験は役に立つ。

様式第5号

エ	保護者・地域等との関わりを深める。	・地域行事に関わった生徒 70%	A	A	・地域には若い力が必要。継続してほしい。
オ	授業に真剣に取り組む態度を育成するとともに、「分かる・学力が付く授業」を実践する。	・「授業が分かる率」95%以上 ・「学力が付いた率」95%以上	B	A	・生徒のやる気を引き出してくれる教員の皆さんに感謝している。 ・「分かる」と感じる生徒が多いのは良いこと。
	丁寧で手厚い教育の成果がより反映される体制を構築する。	・ICT教育に関する職員研修2回以上 ・ICT活用に関する知識・理解・技能が高まったと答える教員の割合70%以上	A	A	・機器不良は避けられないので、機器不良で使用できない生徒の対応を続けてほしい。 ・小中のICT対応状況も把握しながら、高校での活用を進めると良いと思う。
	各教科、分掌との連携を深め、情報収集や探究のための閲覧・読書を推進する。	・年間読書冊数5冊以上の生徒80%	C	B	・携帯電話の普及で本離れは現代社会の課題ともいえる。学校だけの問題ではない。 ・冊数をカウントすることが適切かどうか難しい問題である。 ・読む本はアナログでなくても良いのではないかな。 ・進路に関連した動機付けをして本を勧めると良いのではないかな。
カ	高い志の育成に努め、生徒の進路希望の実現を図る。	・進路対策に満足していると答える生徒80% ・進路について校内webサイトが役立ったと回答した生徒80% ・就職内定率100%	A	A	・個別指導が行き届いていると感じる。「塾がなくても大学へ行ける」ことを証明している。
キ	ICT等を活用した授業や会議等を行うことにより、教育の質を維持し、効率的な学校運営を図る。	・ICTや遠隔授業システムを2回以上活用した教員の割合100% ・授業に工夫していると答える生徒70%	A	A	・ICTの活用は今や不可欠と思う。どんどん活用してほしい。
	外部人材の活用を充実させる	・外部人材による授業を学期に1回以上	A	A	・どんどん活用してほしい。

様式第5号

	広報の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ・インスタグラムの更新 週2回以上 ・「佐高だより」の発行・回覧 年3回 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒募集につながるとよい。 ・広報のターゲットを絞ると良いと思う。 ・天竜区の中学・高校と連携して広報すると良いと思う。 ・「地域」の授業で学校の魅力を発信してはどうか。
ク	学校設定教科「地域」を充実させ、本校・地元大学・地域との連携を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材等の活用 年10回以上 ・授業内での発表会 2回以上 ・「地域」の授業に、主体的・創造的に取り組むことができたと答える生徒80% 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久間町がもっと盛り上がることを期待する。 ・教員が入れ替わっても「地域」の指導を持続できるようにすることが大切。
ケ	中高の行事交流等を充実させ、中高の一体感を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・同一教科の中学校教員との意見交換年6回以上。 ・事後アンケートにより、「よかった」と答える中高生90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・大変と思うが、授業交流を続けてほしい。 ・交流するのは良いこと。 ・佐久間・水窪以外の天竜区の中学校とも何か連携したら良いのではないかな。
コ	安全安心な学校環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に1度の定期的な点検 ・職員への聞き取り 学期1回 ・施設・設備の改修改善による安全安心の確保に努めていると答える保護者90% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の確保は難しい課題だが、要求を続けていくことが大事。 ・予算の問題もあると思うが、学校の取組についての情報を伝えることも大切。
サ	業務の効率化、見直しにより、業務負担の軽減を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日(スーパー定時退勤日含む)を月1回計12回以上設定し、90%以上の教員が実施。 ・スーパー定時退勤日を学期1回設定し、100%実施。 ・時間外勤務 年360時間以内6人以上 ・校内webサイトが業務軽減につながったと答える教員70% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の負担が軽減されていくことを願っている。 ・定時退勤以外の対策も検討すると良い。 ・職員が仕事に満足しているか、生き生き働いているかどうか、といった指標も入れると良いのではないかな。